

Monday Keizai

ビジネス ウォッチ

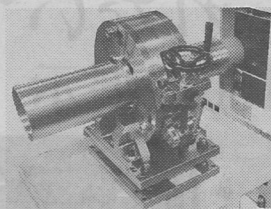
business watch

ミクロン単位の金属加工技術で貢献

“ものづくり”を語るとき、その熟練の技術や卓越した職人技に注目が集まることが多いが、コスモ精工(代表取締役・三角金蔵氏)の藤川芳樹工場長は「私的な見解ですが…」と前置きしつつ「本来なら加工された製品自体が主役であり、職人は最良な脇役であると考えます」と語る。それだけ自社が作り出している製品に自信を持っている表れだろう。

同社は1977年に三角喜久夫前会長が創業し、ステンレスやアルミニウムなどの高度な金属加工の製作所として2007年に町田から相模原に移転した。半導体露光装置の大型部品製作に携わり、製品の誤差3~5ミクロンと言われる精密加工技術を磨いて来た。「通常のNC旋盤機ではそこまでの精度は保証されていませんから、それ以上は機械オペレーターの技術力と経験値ということになります。しかし、特定の技術者のみができることではなく、コスモ精工では皆ができることという共通認識を持っています」と藤川氏は胸を張る。

藤川氏を中心に開発した新製品であるNC旋盤用機外ブレ止め装置(バーガイド)＝写真＝は、



ガイドローラー開閉時の調芯と振動緩和機能を持つ。藤川氏いわく「ありそうでなかったもの」だ。

この開発には、代表取締

役の三角氏がいつも口にする「できない理由にさようなら。こうすりゃできます、こんにちは」の精神がいかされているという。「あきらめないという心はお客さまに育てていただいたと思っています。ないものは自分たちで作ればいい。社長の言葉を胸に、社員みんなで話し合っって作って行こうという機運があるのが強みです。良い職人とは技術レベルの優劣ではなく、常に自分自身のベストを尽くし成長し続けることが出来るかどうかで決まると考えますから」と締めくくってくれた。

●コスモ精工

〒252-0132 相模原市緑区橋本台3-5-17

☎042(700)5711 FAX042(700)5712

消防体育の伝統を人々に

タフ・ジャパンの鎌田修広代表は、2年前まで消防学校の体育教官として人材育成・危機管理などに携わり、全国約3万人の消防士の指導を行ってきた。その経験を基に、強い使命感から先駆者として「全国消防職団員のたった1人の体育の先生」というポジションを確立し、42歳の時に、妻の誕生日の5月6日に教官を辞して起業したのがタフ・ジャパンだ。

現在は総務省消防庁消防大学校の講師を務め、全国各地の都道府県から消防士の人材育成などに尽力を注いでいる。



退職届を出した4日後に東日本大震災が起こった。「自分は何をするために起業するチャンスを得たのか?」。自問自答した結果、「日本の人間関係力を土台から強くすること」が自らの使命と気がついた。

覚悟と理念を表す意味で社名を名付けた。より多くの人々に「消防人の人間関係力の素晴らしさ」、「消防で学んだタフな心と体と勇気」を伝えたい。その思いから独自の「絆物語(JAPAN IS FAMILY)」という教育技法を近年確立した。この教育方法で防災関係など多くの課題を解決できればと考えている。

鎌田代表は「事業は昨年からは既に動きだしている。多くの異業種と関わることで今までなかったものが生まれる感動、そして新たな教育や研修を通じて日本の備えに貢献したい」と熱く語っている。

●タフ・ジャパン

〒251-0046 藤沢市辻堂西海岸3-1-27

☎&FAX 0466(33)8241

URLは<http://www.tough-japan.com>

アドレスはinfo@tough-japan.com

(情報提供・湘南産業振興財団)